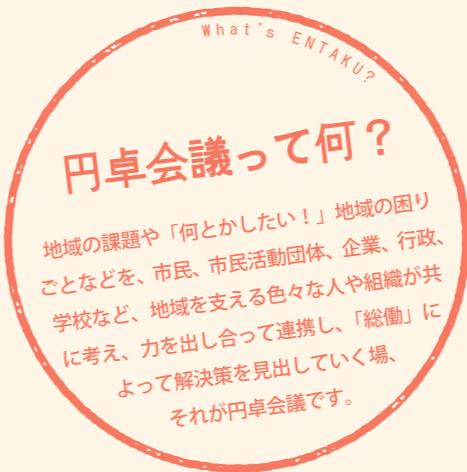


# 「地域の仕事づくり」をめざして

平成26年度たかしま・未来・円卓会議では、前年度の円卓会議で出てきたキーワードを整理し、地域資源を活かした持続可能な「地域の仕事づくり」をめざして、参加者とともにテーマを選び、「小さなビジネスの種」を見つけ、具体化するための会議を進めてきました。



## 「まちの力は、関係の密度がつくる！人口密度より、人「交」密度！」

地域の高齢化、道路や施設の老朽化、若者流出など、高島市の財政は厳しくなるばかり。全国各地で、地域の課題は行政だけではどうにもならないと、市民が地域の未来のために、出し惜しみせず、あきらめず、「誰かがどうにかしてくれる」と甘えずに動き始めています。

「協働」は市民活動団体・NPOと行政が、共通の目標を達成するために、互いの専門性を活かし、役割と責任を分担し、相乗効果をめざします。「総動」は行政も民間も水平な関係で、多様なまちの人と人が対話し協働する仕組みです。地域円卓会議を「総動」を進めるきっかけにしていきましょう。(講演内容より一部抜粋)



地域資源を活かした  
「地域の仕事づくり」への  
3ステップ

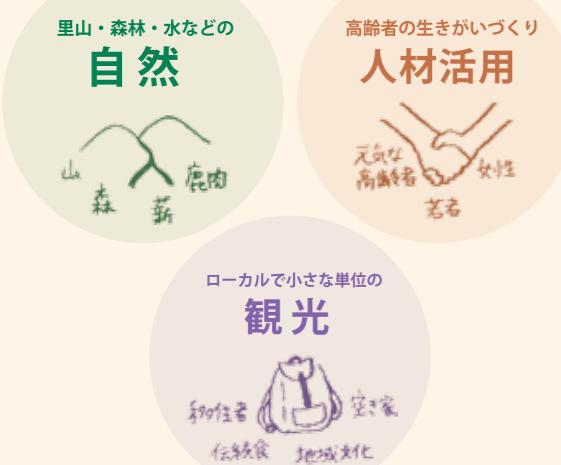
### 1 参加者でテーマを決める



第1回 円卓会議

「地域の仕事づくり」を目指して  
「今、取り組むべきテーマ」を  
参加者自身で決定する

第1回の円卓会議では、前年度の円卓会議で最も多く出てきた【森林】、【子育て】、【高齢者の活躍】などのキーワードから「今、取り組むべきテーマ」を参加者といっしょに考えました。その結果、【自然】【観光】【人材活用】の3つがテーマに決まりました。



### 2 「小さなビジネスの種」を見つける

#### 自然・観光・人材活用をテーマに、「地域の仕事づくり」につながりそうな「小さなビジネスの種」を見つける

第2～4回の円卓会議では、【自然】【観光】【人材活用】をテーマに、高島市内のNPOや個人、市民活動等による既存の取り組みの事例紹介を行ったあと、5～6人で話し合うグループワークと全員での意見交換を行い、そこから「小さなビジネスの種」を見出していました。各回で一つのテーマに対して話し合いを進めていましたが、回を重ねるごとに、テーマを横断した総合的な課題解決を意識したアイデアが出てくるようになり、そこから様々な「小さなビジネスの種」が生まれました。

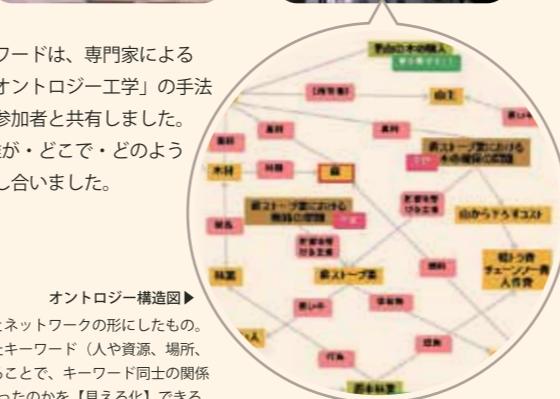


こんなに見つかった！「小さなビジネスの種」



円卓会議で出てきたキーワードは、専門家によるプロジェクト会議にて「オントロジー工学」の手法を援用しながら整理し、参加者と共有しました。これを基に、具体的に「誰が・どこで・どのように・いつ」やるのかを話し合いました。

ことは同士をつないで階層構造とネットワークの形にしたもの。グループワークの中から出てきたキーワード（人や資源、場所、アイデアなど）を丁寧に定義することで、キーワード同士の関係や、全体としてどのような内容だったのかを【見える化】できる。



### たかしま・未来・円卓会議を支える運営メンバー

「たかしま市民協働交流センター」が中心となり、各分野の専門家との協働で進めてきました。またこれら運営メンバーとともに、円卓会議で参加者から出された「小さなビジネスの種」を具体化するためのプロジェクト会議を並行して開催しました。

#### ファシリテーター（参加者が発言しやすい雰囲気をつくる進行役）

中川 芳江 (Office SPES 代表)

全国で行政・企業・市民・NPO等の連携事業創出を多数手掛ける。事業戦略立案・計画策定では、潜在事業の顕在化・具現化、モチベーション喚起には特に定評がある。

#### サポート・アドバイザー

北井 香

NPO法人木野環境 理事。滋賀県立大学 地域共生センターの特定プロジェクト研究員。

#### 協働組織

滋賀県琵琶湖環境科学研究所

金 再奎 (総合解析部門・主任研究員)

木村 道徳 (研究員)

琵琶湖と滋賀の環境問題に対して科学的側面から研究し、成果を総合的に解析して政策提言を行っている。円卓会議では、主に森林の資源管理や資源活用に関する調査や研究成果の共有のほか、市民が感じる豊かさや幸せの指標作成を通じて、様々な助言や提案を行う。

NPO法人 循環共生社会システム研究所

岩川 貴志 (研究員)

持続可能で真に豊かな社会の実現を目的とした、研究者・技術者とそれを支える市民によるNPO法人。循環共生の新しい社会について、各地の事例を調査分析し、その文化を実現するためのシナリオを具体的に提案。円卓会議では、他地域での実践事例を踏まえたアドバイス等を行う。

大学共同利用機関法人 総合地球環境学研究所

熊澤 輝一 (研究高度化支援センター 助教)

地球環境問題を「人間（Humanity）」と「自然系（Nature）」の相互作用の問題としてとらえ、地域的な特性や歴史的な経緯などを考慮しつつ、総合的に研究し、未来可能性のある社会の構築をめざしている。円卓会議では、参加者から出た言葉を図表化し、会議運営をサポート。

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会

井岡 仁志 (地域福祉課長)

地域住民の福祉活動支援、ボランティア活動支援、福祉課題を抱いた方への相談援助活動、在宅福祉サービス事業などをおこなうことで、誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくりを進めている。円卓会議では、福祉の視点から地域における課題やニーズについて助言を行った。

### 平成26年度たかしま・未来・円卓会議&プロジェクト(PJ)会議 運営スケジュール

2014年4/27 キックオフミーティング	5/27 PJ会議	7/5 第1回円卓会議	7/29 PJ会議	8/23 第2回円卓会議	9/12 PJ会議	10/4 第3回円卓会議	10/20 PJ会議	12/13 第4回円卓会議	1/7 PJ会議	1/16 PJ会議	2015年1/31 第5回円卓会議	3/3 PJ会議	3/20 報告会＆交流会
-----------------------	-----------	-------------	-----------	--------------	-----------	--------------	------------	---------------	----------	-----------	-------------------	----------	--------------